

令和6年度第2回静岡市認知症対策推進協議会会議録

- 1 日 時 令和7年3月17日（月）19:15～20:45
- 2 場 所 静岡市役所静岡庁舎新館3階
コミュニティ&ダイニングスペース 茶木魚
- 3 出席者 (委 員) 富安会長、宗副会長、井出委員、河西委員、
岸山委員、杉山委員、田村委員、堀越委員、
溝口委員、宮口委員、望月恵子委員
※内5名：WEB参加、6名：会場参加
(事務局) 地域包括ケア・誰もが活躍推進本部
酒井参与兼次長、石川係長、望月副主幹、
草谷主査、白鳥主任主事、柴山主任主事
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 題
 - (1) 令和6年度静岡市認知症施策の実績について
 - (2) 令和7年度静岡市認知症施策年間計画（案）について
 - (3) 令和6年度静岡市認知症疾患医療センター指定更新について
- 6 会議内容
 - 会議内容 資料の確認、WEB参加者のZOOM設定確認
 - 市挨拶 地域包括ケア・誰もが活躍推進本部参与兼次長 酒井
 - 会長挨拶 富安会長
 - 会議成立 会議成立の報告（委員15名中11名の出席により会議は成立）

富安会長

議題（1）令和6年度静岡市認知症施策の実績について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

＜資料1により説明＞

富安会長

資料1についてご意見やご質問がありましたら、お願いいたします。

河西委員

まず認知症サポーター養成講座ですけれども、計画の開催回数の半分近くになりますけれども、先ほど小学生や学生ということでしたので、また令和7年度は少し増えるといいなと思っております。また、私ども薬剤師会にも、認知症サポーター養成講座の開催のお願いをしばらくしてないので、来年度ぜひお願いしたいと思っております。

あと認知症ミニ講演会ですけれども、エーザイとの4者協働事業で先生方がやっていることは承知していますが、先生方がお忙しくてあまり開催ができていないとの認識でよろしいでしょうか。

事務局

認知症ミニ講演会については河西委員のおっしゃる通りで、先生方がお忙しいということで日程調整の難しさというのがありますが、コロナ禍で完全にストップしてしまい、存在を思い出してもらえていないという状況があります。今年度の後半から、生涯学習交流館等にも周知をさせていただいて、来年度の企画の中でぜひご依頼くださいというようなお願いをしており、既に来年度の予定が1回あるというような状況です。

開催回数に上限がある事業ではありますが、もう少し使っていただけるような事業になるよう努めていきたいと思っております。

河西委員

薬剤師会も似たような感じでお薬出前講座を一般市民向けや介護事業者向けに、要請があると開いていますがそういう時に一緒に周知して、認知症に関してはミニ講演会があるというような感じで、一緒にやっていくというのは、いろいろな人に伝えるという意味ではいいと思いましたので、ご協力できればと思っております。

あと初期集中支援事業に関してですが、県の会議でも申し上げたのですが、初期集中に繋げるということが難しいと思います。

実際困ってはいても、なかなかその繋ぎが難しいという話を聞いたりします。商店や銀行私ども薬局もそうですが、例えば薬局ですと、同じものを毎日毎日買いにくるとか、銀行でも不用意に何度も来て、同じように何度もお金をおろそうとしたりするとか、話のつじつまが合わないことがあ

ったりするとお聞きするので、町内とか地域包括だけではなく一般の商店とか企業等に、初期集中の支援があるということを伝えていくことで、今まで拾えていない所から相談が来るかもしれないと思いました。

あと、“かけこまち七間町”に今日私ども薬剤師会が学生を連れて行かせていただきました。

とても好評でしたが、いろいろな対象の方が来てくれたり、参加してくださるようなイベントをずっと継続していただけるといいと思いました。

事務局

初期集中に関しては、どんな時にでも利用できる仕組みではないので、支援者向けの周知というのをこれまでは努めてきておりました。

市民向けには何かあったら地域包括や“かけこまち七間町”へ行ってくださいというような言い方がこれまで多かったんですが、初期集中支援チームという仕組み自体を、今後周知して広めていきたいと思います。

富安会長

認知症サポーター養成講座についてはコロナが明けて、動きが元に戻るのが難しいと思います。全ての活動がそうだと思うのですが、また心新たに職能団体の皆様にもご協力をお願いできればと思いますので、よろしくお願いいたします。

富安会長

井手委員、お願いします。

井出委員

今年から始まった訪問レッスンの事業についての実績を教えてくださいましたらと思います。

事務局

インストラクターの事業は今年度7月から開始して、27件の実績があります。

我々が想定していたより直接家に来てもらいたいという要望が少なかったのか、想定していた件数には届かなかったですが、ご利用された方の満足度は非常に高いものがありますし、何回か連続でのご利用をしたいというご希望があって、お伺いしたようなケースもありました。

富安会長

堀越委員、お願いします。

堀越委員

若年性認知症対策の強化ということで大事なことだと思うのですが、活動指標が理解が深まった受講者の割合でしたが、そういうことも大事だと思いますが人数も分かっただけいいと思いますので、ちょっと違う活動指標の作り方もあるかと思います。また、認知症カフェの実施圏域数も分かるのですが、参加人数や活動内容が分かるのかと疑問に思ったので、多分把握されていると思うのですが、参加人数がわかればもっといいと思いました。

事務局

委員のおっしゃる通り理解度と同時に、より多くの方へというような観点の評価もすべき問題ではあると思います。

この若年性認知症については、集めての啓発というところから、より広く“かけこまち七間町”を拠点として、対面の集合型に限らず、広く周知をしていくような方法を今後検討していきたいと考えております。

認知症カフェについてですが、まちづくり計画を策定したときの考え方でこのような目標になり、人数等の表示がなくて申し訳ございませんでした。

全ての認証しているカフェから報告書の提出は受けておまして、それぞれが毎月定期的開催をしてくれていて、内容もカフェのような形のものもあれば、レクリエーションのようなものを多くしているところの講座が多いところ、いろいろなところがオリジナリティを発揮してやっていたところでは把握しております。

富安会長

議題2 令和7年度静岡市認知症政策年間計画（案）について事務局よりお願いいたします。

事務局

<資料2により説明>

富安会長

資料2についてご意見やご質問がありましたら、お願いいたします。
岸山委員お願いします。

岸山委員

“かけこまち七間町”で今年度私達も催し物をさせていただいて、“かけこまち七間町”のことを理解できてよかったと思います。

高齢者の中で“かけこまち七間町”のことを知っている方もいると思いますが、地域によっては“かけこまち七間町”のことを知らない高齢者もまだいると思います。

SNSを開設するということですが、高齢者の方にSNSで伝えるのは難しいところもあるのではないかと思います。他の広報の方法も検討していますか。

事務局

“かけこまち七間町”の認知度の向上というのは、ずっと課題になっております。

“かけこまち七間町”のことを知っている方の評判は良いのですが、市街地まで来られないような地域の方には電話相談や訪問事業を始めてはいますが、自分事として考えるという状況にはまだなっていないと思います。

アルツハイマー月間等の時は広報紙に掲載していますが情報が限定的になっています。認知症になるかもしれない高齢者に直接幅広く届ける媒体があれば望ましいのですがなかなか難しいため、SNSをやってる可能性が高い子供世代にまず知っていただきそこから高齢者に広がっていけばSNSも一つの手段になるではと考えています。

対象者に直接届く方法ということへの答えが難しい状況が続いていますが、高齢者の周りの人への周知の方法としてSNSを活用していきたいと思っています。

富安会長

杉山委員お願いします。

杉山委員

2点ありまして、一つは認知症サポーター養成講座ですが、今年度の報

告にこどもサポーターとありますが、小学校、中学何年生にサポーター養成講座をしていますか。また今年度も子供たちに対してのその啓発を重点的にしていくのかお聞きしたいです。

もう一つは“かけこまち七間町”の新コンセプトの（２）ですが「既存の医療・介護サービスの利用に繋がるまでの支援を総合的に行うことで、地域包括支援センター等の他の支援機関との棲み分けを図る」とありますが、非常にわかりにくいです。

地域包括支援センターが医療介護サービスに繋がるまでの支援を行っているものですから、“かけこまち七間町”とどう棲み分けをするのかが想像しにくいです。まるけあ連絡会等で“かけこまち七間町”が行う支援を具体的に示していただかないと、地域包括支援センターとの棲み分けが理解しにくいと思います。

事務局

まず、認知症サポーター養成講座についてなんですけれども一番多い種類が２種類あります。

一つは小学校４年生で、学年として福祉のことを学ぶ学年となっています。認知症サポーター養成講座受講の募集をして、希望があるとそこへ講座に行きます。

もう一つは、夏休みの学童の場で講座を開催しています。

昨年度は希望が多かったのですが、今年度は減ってしまったので人数も減少してしまいましたが、夏休み中の学童へ行き小学生へ紙芝居や劇を使いながら高齢者へ優しく接する気持ちを感じていただくようなものができております。

先程説明がありました１２月に確定された国の計画の中でも明確に学生年代若者へと文言が入っていますので、今後も若い世代に対しての普及はしていきたいと思います。

孫から言われると高齢者も動くというところに繋がりやすいと思いますので、今後も積極的に周知啓発をしていきたいと思います。

もう一つの、“かけこまち七間町”の他の支援機関との棲み分けということですが、文章のスペースの関係で説明が不足して申し訳ありませんでした。関係機関へ説明に上がるときには図を使いながら分かりやすくしていきます。

グループ分けをさせていただくと、サービスを使って生活をしていくというステージに入った方向けの支援は、地域包括支援センター、ケアマネ

ジャー、認知症医療センター等それぞれの支援能力がとても高いものがあると思います。

ただ、サービスを利用する方は多いですし、その困った状態になってから支援に繋がり始める方が多いと思います。

そこで、認知症支援が必要にならないよう、“かけこまち七間町”は力を入れていきたいと思っています。

地域包括支援センターの支援を含めて、それらをなるべく使わないで地域で生活できる時間を長くする、ということを“かけこまち七間町”でやっていきたいと思っています。認知症支援が必要ない状態というのは、本人やご家族にとっては生き生きした時間が一番長くなるという言い方もできると思いますし、支援機関の負担も減ってくると考えています。

認知症のことで困らないためのサービスを使わない、使わずに生活をするための応援というのをかけこまち七間町でさせていただいて、早期発見、早期介入予防、発症予防、重症化予防、このあたりまでが“かけこまち七間町”のメインターゲットでその後、地域包括支援センター、行政の公的なサービスのサービスを使いながら生活をしていくとなった後から、支援機関の支援を受けることとなりますがなるべくそうならないように“かけこまち七間町”が頑張っていくというような役割分担でやっていきたいと思っています。ただ、このコンセプトに関しては今できます、これからこうしますというものでは残念ながらありません。

この方向を目指していくということで、実現性を確保していこうとは思っておりますが、中期の目標、コンセプト方針と捉えていただきたいと思います。

富安会長

望月委員お願いします。

望月恵子委員

私のところに見える方は、まだ介護が始まったばかりで、相談先は地域包括支援センターというのは皆さんご存じなのですが、“かけこまち七間町”を知らない方もいます。また、“かけこまち七間町”を知っていてもイベントをやっている場所ということで相談場所として認識していない方もいます。

“かけこまち七間町”で相談できることを周知していただければと思います。介護が始まった方はあちらこちらに行き不安な気持ちになり疲れて

しまうので、安心できるような相談窓口が増えることを望んでいますので、これからもよろしくお願いします。

富安会長

議題3 令和6年度静岡市認知症疾患医療センター指定更新について事務局より説明をお願いします。

事務局

＜資料3により説明＞

富安会長

宗副会長よろしくお願いします。

宗副会長

指定についてですが、今3つ病院が非常に一生懸命にやってくれており、紹介して時間がかかって大変なこともあるのですがよくやっただいただいていると思います。

できればそのまま、続けていただきたいと思います。それぞれの病院に特徴があり、清水病院は総合病院としていろいろな疾患との関連を見るのが得意ですし、溝口病院は認知症に関連した症状に対する治療がとても得意です。

静岡てんかん・神経医療センターは患者が混んでいるのですが、診断から治療まで専門的に完璧にやってくれます。

それぞれ特徴があり、混んでいても利用したいと開業医として思いますのでこのまま続けていただきたいと思います。

富安会長

本日予定した議題は以上となります。

全体を通して質問をお願いしたいと思います。

河西委員お願いします。

河西委員

この協議会の内容とは少しずれてしまいましたが、先日GX推進課の熱中症の対策会議に出席させていただきまして、令和7年度は静岡薬剤師会と清水薬剤師会が熱中症の啓蒙ということでお手伝いをさせていただきます

が、その中で高齢者の室内の熱中症搬送が減らず重症化する方も結構いらっしゃるというデータを聞きました。

そういう室内の場合に、特に認知症の方が水分を取らないとか、室内で40度近くあるのにエアコンがついておらず上着を着ていて、暑くないと言っているということが結構あり、認知機能が落ちると気温に対する反応が悪くなるというのがあって、私どもも少しご協力できればと思っているのですが、例えば地域包括支援センター、ケアマネット協会、訪問看護の方等いろいろ在宅や地域に関わる人達に熱中症に関しても一緒に啓蒙していき、熱中症がひどくなると認知症も悪化するということもあると思うので、そこをうまくやれたらいいと思っています。

例えば街中の薬局などでもクーリングシェルターでのポスターを貼ったりするとのことでしたので、で“かけこまち七間町”も涼んでいてもらえるようにしてそこで少し啓蒙することができればいいと思います。夏場に向けて少しそのような事も企画していただけたらと思いました。

事務局

事務局案検討の中で、熱中症という観点のものは今まで上がってきたことがなかったので本当に貴重なご意見だと思いますありがとうございます。

今ご提案いただいた、“かけこまち七間町”ではイベントで施設を使っていなければ休憩スペースとして開放しております。今も静岡市産のお茶を提供していますので、引き続き夏の暑い時期も休憩できる場所として開放していくことは継続していこうと思います。

今年の暑くなる頃までに、先ほど説明したSNSのフォロワー数がどの程度ついているか分かりませんが、定期的に熱中症も気をつけましょうと投げかけることはできるかと思いますが、それ以上の周知となると検討をする必要があると思いますが普及啓発は“かけこまち七間町”が重きを置いてやっておりますので、その中で熱中症についても伝えていくことはできると思います。

富安会長

静岡市も40度を超えましたので、かなり暑い夏になるかと思っています。認知症カフェ等でも熱中症対策等の普及もできるのではないかと今お話を伺いながら思いました。拠点を置くということが大事なのではないかということでよろしいですか。

富安会長

宮口委員いかがでしょうか。

宮口委員

チームオレンジ運営支援事業についてお聞きします。私も認知症サポーター養成講座に参加しまして、参加している人数が減っているということでしたが、参加した時に熱心に聞かれている方も10名程度いましたが、その後私は次のステップに行き何か活動したいと思い“かけこまち七間町”に問い合わせをしましたが、その後のフォローアップはありませんということでした。

この資料から認知症サポーターを経験した人たちが、チームオレンジを運営するというようなお話もありましたし、先日広報でもフォローアップ講座を70名ほど募集しており、実際どれぐらい集まっていたのか気になりましたが、地域に暮らしてる方が一番身近であるので、養成講座に来た方は認知症に興味がある方たちも多く、自分事と捉えてる方もいらっしゃると思いますし、身近に認知症の方がいる方もいると思いますので、ぜひ市民を巻き込んで一緒に考えていくようにしてもらいたいと思いました。

また、去年の秋頃に市の生涯学習センターで県大の短期大学の社会福祉学科の先生が「知っておきたい認知症とフレイ健康長寿地域共生のために」という講演をやってくださり、とてもわかりやすかったのですが、参加者が8人しかいませんでした。

これは認知症にまだ興味がないのか、平日だからなのか、他人ごとと思っているのか、本当にいいお話だったのでこういう機会を無駄にして欲しくないということがありました。

事務局

まずチームオレンジについてですが、立ち上げにはかなりエネルギーが要るものになっておりますので、国の理想的な流れとしては、認知症サポーター養成講座を受けていただいて、認知症サポーターの方たちが地域で認知症の方のための活動に発展していくということを示しているのですが、なかなか一個人がチームを立ち上げていくということが難しく、今市内にあるチームオレンジは自治会や地区社協が母体になっていたり、元々グループとしては成立をされていて、そこが認知症のことも頑張ってくれるようになってチームオレンジになっていくといったような流れのもの

が多いです。

そのような地域にお住まいの方はそれに参加できますが、そういう機運がまだないような地域にお住まいの方は、なかなか認知症サポーター養成講座で学んでいただいたことを活かす場をご用意できていないような状況があります。

もう少し住んでいる地域に頼らないものも増やしていければとは思っております。

先程の2月頃のリフォローアップ講座ですが認知症サポーター養成講座の次の段階が静岡市がないという課題のもと今年度開催をしたものになります。

サポーター養成講座で学んだことを使って、具体的に接するときはどうしたらいいか等を学べるような内容のものを企画しました。これに関しては来年度回数を増やす予定がありますので、ぜひご参加していただければと思います。リフォローアップ講座の参加者人数は70名定員で50人程度ご参加いただいているということですので定期的に場所を変えながら開催していければと思っております。

続いて講座を開催したが参加者が少なかったとのことですが、こういったことを解消するために先ほどの“かけこまち七間町”のプラットフォームというコンセプトを作ったところです。

今我々も努力をしておりますが、民間や公的機関で認知症予防のいろいろな講座イベント、エクササイズを実施していますが効率が悪いため“かけこまち七間町”に情報を集めて“かけこまち七間町”から発信するという状況を目指すということがコンセプトのプラットフォームということになります。

今はまだ全くそうになっていない状態ですが、SNS使いながら目標に近づくようにやっていきたいと思っています。生涯学習交流館等へはSNSの開設が進んでいけば“かけこまち七間町”から発信ために情報を教えてくださいという依頼をしていきたいと思っています。夏頃にはそのようになればいいと考えています。

富安会長

ありがとうございました。本日の協議会を終了させていただきます。

令和6年度 第2回 会議録確認署名

「令和6年度第2回静岡市認知症対策推進協議会 会議録」について、内容を確認しました。

静岡市認知症対策推進協議会 会長

氏 名 (署名)

富安真理